

各報道機関 様

KJ00673077
2026年6月29日

発信課	社会教育部博物館
担当者	友田、飯岡
連絡先	電 話 69-2004
	F A X 69-2001
	E-mail museum@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 ☒ 募集 ☐ 契約・入札 ☐ 会議・説明会 ☐ その他 ☐
日 程	令和8年7月11日 9時00分 ～ 令和8年8月30日 17時00分
発表項目 (行事名)	旭川市博物館第103回企画展「食べる -上川の先史時代を生きる-」
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	旭川市博物館第103回企画展「食べる-上川の先史時代を生きる-」 開催期間：2026年7月11日（土曜日）から8月30日（日曜日）まで 開催時間：午前9時から午後5時まで （入館受付は午後4時30分まで） 開催内容：発掘遺跡調査の成果および文化人類学の諸例から、 先史時代の食料 「確保」「加工」「調理」に関する遺物、パネルを 展示。 観覧料：高校生以上は常設展示室観覧料が必要。 ※8月1日（土曜日）は「旭川市民の日」のため、どなたでも 無料で観覧できます。
添付資料	有 ☒ 無 ☐
報道（取材）に当 たってのお願い	
備 考	

旭川市博物館第103回企画展

食べる ー上川の先史時代を生きるー

アイヌの歴史と文化に出会う
旭川市博物館
Asahikawa City Museum

2026. 7.11 sat ▶ 2026. 8.30 sun

〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目 旭川市大雪クリスタルホール内 TEL 0166-69-2004



人間が健康に生きていくためには、タンパク質・脂質・炭水化物・ビタミン・ミネラルの五大栄養素が必要です。

そのため、人間は自身が置かれた環境下で、必要な栄養素を摂取できるよう、食生活を形作ってきました。

では、上川地方の先史時代、人々はどのような食生活を送っていたのでしょうか？

残念ながら、上川地方の遺跡に食べ物の痕跡は、ほとんど見つかっていません。骨の出土例もなく、食と関連するものは、狩猟と加工そして煮炊きの道具にとどまります。

そこで今回の企画展では、上川地方以外の地域での発掘成果や、人類学・民俗学の研究成果の力も借りて、上川地方の先史時代に、人々が食料をどのように確保し、加工・調理していたかを「想像」し、考えてみたいと思います。



〈企画展関連イベント〉

8/1 (土) 11:00 ~ 12:00

「展示解説」

学芸員が今回の企画展を紹介・解説します。

対象：どなたでも
※ 8/1 は無料観覧日です。



〈夏休みイベント〉

8/8 (土) 11:00 ~ 12:00

「大昔のあさひかわ

～なにを食べていたのかな?～」

この地にくらしていた人々は、何をどのように手に入れて、調理し、食べていたのかを、分かりやすくお話しします。

対象：どなたでも (内容は小中学生向けです)
定員：10 名
※ 常設展観覧料が必要です。小中学生は無料です。
※ 当日 10:30 から受付で整理券を配付します。



利用のご案内

開館時間：午前 9 時～午後 5 時
(入館受付は午後 4 時 30 分まで)

※ 会期中無休

観覧料

	大人	高校生	小中学生
個人	350 円	230 円	無料
常設展			
パスポート	700 円	460 円	—
団体 (20 名以上)	280 円	180 円	無料

◎パスポートは何度でも観覧でき、最初に観覧した日から 1 年間有効です。

◎企画展の観覧には、常設展示室観覧料が必要です。

◎8/1 は無料観覧日です。

交通案内



■ JR 旭川駅から
旭川駅南口西側よりクリスタル橋経由

■ バス
大雪クリスタルホール前バス停
(旭川電気軌道 93 道北バス 443)

神楽 4 条 7 丁目バス停
(旭川電気軌道 80 (81)
道北バス 39 (43))

〒070-8003 旭川市神楽 3 条 7 丁目 旭川市大雪クリスタルホール内
TEL 0166-69-2004

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/hakubutukan/index.html>

